

第 11 回大田区移動等円滑化推進協議会

議 事 概 要

日 時：平成 26 年 7 月 28 日（月）10：00～11：30

場 所：大田区役所本庁舎 2 階 201・202・203 会議室

出席者：末尾に記載

次 第：

開会

議事

事務局より報告

- 1 委員の委嘱について
- 2 移動等円滑化のスケジュールについて
- 3 移動等円滑化の推進について

質疑

事務連絡等

閉会

資 料：

- ・ 次第
- ・ 委員名簿
- ・ 大田区移動等円滑化推進協議会設置要綱
- ・ 座席表
- ・ 資料 1 移動等円滑化のスケジュールについて
- ・ 資料 2 移動等円滑化推進協議会及び各部会の開催について
- ・ 資料 3 大田区移動等円滑化推進計画（蒲田駅及び大森駅周辺地区）
かまた街なか“すいすい”プラン特定事業計画進捗状況一覧
- ・ 資料 4 H27 年度の見直しについて

主な質疑応答等

はじめに

高橋委員長 : 大田区移動等円滑化推進協議会の開催も5年目を迎えました。バリアフリー化に向けて課題は多くありますが、蒲田及び大森に関して、地域の方々の協力も得て成果を挙げております。本日はこれまでの進捗状況の報告が中心となります。忌憚のないご意見を頂きたいと存じます。

議事

資料1について

事務局

: 次第に沿いまして、各項目の全体的な流れをご説明いたします。今年度の大田区移動等円滑化推進協議会の開催は本日のみでございます。来年度は3回の開催を予定しておりますが、これは蒲田駅及び大森駅周辺地区の「“すいすい”プラン」の見直し等が、H27年度末に向けて実施されるためでございます。事業者部会・区民部会は昨年度と同様に各1回ずつを予定しております。特定事業計画に関して、蒲田駅周辺地区は進捗管理2年目、大森周辺地区は今年度より進捗管理を実施しております。点検整備地区に関しては「改善レポート」を作成いたしまして、今年度にモデル地区の検証を実施する予定です。検証内容については、来年度に報告したいと考えております。H27年度の間見直しにおいては、蒲田及び大森の「“すいすい”プラン」が見直しの中心となります。大田区移動等円滑化推進方針「おおた街なか“すいすい”ビジョン」については、「“すいすい”プラン」の見直しを受け、影響が波及すると考えております。

資料2について

事務局

: 協議会の開催について、今年度は進捗状況の報告が主な議題となり、H27年度は「“すいすい”プラン」等の見直し为中心となります。事業者部会は秋の開催を予定しており、特定事業者を対象としてH25年度の進捗状況の報告及び取り組みを紹介することで、事業の実施に向けた意識の更なる向上を目的としております。区民部会は冬の開催を予定しており、区民部会委員を対象として、大田区のバリアフリーに関する取り組みの紹介及び学識経験者の講演を依頼したいと考えております。

委員長

: 事業者部会及び区民部会について、アウトラインの説明をお願いします。

事務局

: 事業者部会では、特定事業計画の進捗状況の一覧表を事業者の皆様配布いたします。併せて進捗状況の報告を実施すること、また、事業の終了した事業者様若しくは特定事業と併せ自主的に事業を実施した事業者様の講演・アドバイスを頂くこと等を予定しております。区民部会についても事業計画の説明を実施いたしますが、詳細な内容を紹介するのではなく、事業者数及び実施済み事業の数や、学識経験者の講演を予定しております。両部会とも、移動等円滑化についてより意識して頂く契機になればと考えております。

資料3について

事務局

: 特定事業計画についてご説明します。バリアフリー法に規定されている基本構想として定めた蒲田及び大森駅周辺地区の「“すいすい”プラン」の中で、公共交通・道路・建築物等の項目を設け、事業者の皆様協力をお願いしました。各事業者様から同意を頂き、バリアフリー基本構想に特定事業を掲載いたしました。その特定事業に関して、内容や予定期間等を示したものが特定事業計画でございます。本協議

会の開催に合わせ、特定事業者の皆様に進捗状況の報告を依頼し、取りまとめをいたしました。蒲田駅周辺地区は進捗管理2年目であり、順調に事業が実施されております。全142事業中50事業が完了し、35%の進捗状況でございます。継続して実施している「着手済みの事業」76事業も加えると、蒲田駅周辺地区全体では54%の進捗状況となっております。

嶋田委員 : 特定事業計画について、多くの事業が完了していることを嬉しく思います。蒲田駅周辺地区に関する事として、駅東口側は利用人口と比較するとスペースが不足しているため、区が民有地等を購入し、初期・中期・長期で整備を実施するとメディアで知りました。移動等円滑化計画とは別だと承知しておりますが、その進捗状況について伺います。

黒澤委員 : 蒲田駅では特に東口において、利用人口と比較すると駅前広場の面積が不足しております。区では、地域の皆様とともに「蒲田駅周辺地区ランドデザイン」を策定するなどの取り組みを進めてまいりました。また、駅前広場や放置自転車問題の解決のため、地下に自転車駐車を設置することを中心に、地権者・鉄道事業者・地域住民・まちづくり協議会等の皆様と「蒲田駅周辺再編整備プログラム」を作成し、東口駅前広場の拡張及び自転車駐車の設置について、区の計画として決めました。現在は、関係機関と調整中でございます。なお、西口側もバリアフリーの観点から改善すべき点は多いと考えております。周辺住民の皆様と研究会を開催し、検討を行っております。

事務局 : 特定事業の中には「蒲田駅周辺再編整備プログラム」と連携して実施すべき事業も存在し、事務局にて調整を行っております。今後も他事業との連携を図り、特定事業が着実に実施されるよう努めてまいります。

葩島委員 : 特定事業計画に記載されている事業に関して、事業の追加は可能でしょうか。

事務局 : 追加に関しては事務局でも検討しており、H27年度の見直し後、追加の事業を掲載したいと考えております。しかし、基本構想が策定された段階で事業計画を国に提出しているため、そちらが基準となっております。追加分をどのように反映させていくかは、来年度の見直しの際に検討すべき項目だと認識しております。

葩島委員 : 道路管理者としてだけでなく、協議会委員としてお願いしたいことがございます。現在、東京都において、サイン等の多言語化に関する取り組みを実施していると伺っております。今後、当面は東京オリンピック・パラリンピックの開催が目途となるでしょうが、特定事業計画にサインの多言語化に関するメニューを加えて頂ければと考えております。

黒澤委員 : サインに関して、区では東京オリンピック・パラリンピックの開催も踏まえ、サイン計画の改訂に着手いたしました。多言語表記についても、大きな課題として取り組んでおります。関係機関及び区内部でも調整を行い、来年度の移動等円滑化計画の見直しにも反映させていきたいと考えております。なお、事業の追加に関しては国に提出している基本構想を変更するのではなく、計画に反映しない形だとしても、追加の事業に取り組んで頂ければありがたいと考えております。

事務局 : 次に、大森駅周辺地区に関する特定事業計画について報告いたします。今年度が進捗管理初年度ではありますが、すでに着手済みの事業もございます。全72事業中14業が完了しており、進捗状況は19%となっております。また、「着手済みの事業」を加えますと、地区全体では28.3%の進捗状況でございます。

- 佐々木委員 : 蒲田及び大森とも、ソフト施策の中で放置自転車対策について触れられています。それぞれ終了年度が異なりますが、放置自転車対策は継続して実施すべき事業だと思います。
- 明立委員 : 放置自転車対策については、自転車利用のルールとマナーに関する広報啓発活動とともに、路上への突出し看板の指導も含め毎年進めております。今後も継続して実施してまいります。
- 委員長 : ソフト施策は計画年度が到来すれば事業終了ということにはせず、継続して取り組んで頂きたいと思っております。
- 宮澤副委員長 : 路上への突出し看板の指導に関して、どのように是正及び指導を行っているのか教えて頂きたいのですが。
- 明立委員 : 道路法において、道路に関する禁止行為及び違法放置物件に対する措置が定められており、道路監察の担当が巡回しております。地域や商店街の皆様とともに、引き続き是正及び指導について取り組んでまいります。
- 江守副委員長 : 大森の特定事業計画には、品川区の施設が含まれています。道路に関する品川区との連携は、どのようになっているのでしょうか。
- 事務局 : 品川区との連携はプラン策定の際から考えており、何度か品川区を訪問いたしました。道路に関する連携の検討もお願いしましたが、特定経路となった場合の扱い等があり、今回の連携は見送った経緯がございます。
- 委員長 : 蒲田駅周辺地区は 35%、大森駅周辺地区では 19%の事業が完了しており、これから費用も時間も必要ではありますが、継続して進捗管理をお願いいたします。また、計画には含まれない事業に関しても、特定事業の進捗や東京オリンピック・パラリンピックの開催等社会の状況もあるので、関連付けて進めていくことを期待しております。
- 資料 4 について
- 事務局 : 見直しは、前半（事業実施の中間時点である H27 年度）までの取り組みをチェックし、後半（H28 年度～H32 年度まで）に反映させることを目的としております。対象は蒲田及び大森の「“すいすい” プラン」であり、特定事業の追加等も含め、見直しする部分を絞り込んだ上で、進めることを計画しております。また、大田区独自の点検整備地区のあり方も検証していきたいと考えております。プラン及び点検整備地区に関する内容を見直すことで、ビジョンにも触れていくのではないかと考えております。
- 委員長 : 見直しは PDCA・スパイラルアップであり、より良い方向に向かっていくということは、バリアフリー法の基本的な考え方です。先を見据え、バリアフリー化が推進されるためにはどのようにすれば良いかを、検討することになると思っております。
- 千葉委員 : 蒲田及び大森が中心の計画であることは理解しております。それ以外の地域、例えば田園調布・久が原・洗足・嶺町等からなる調布地区において、計画等の策定予定はないのでしょうか。
- 黒澤委員 : バリアフリー法に基づく重点整備地区は蒲田及び大森駅周辺の 2 地区ですが、大田区独自で定めた点検整備地区という考え方がございます。どの地区を点検整備地区として設定するか、また、大田区全体のユニバーサルデザインのまちづくりをど

のように進めていくのか等が、課題だと考えております。関係各所と連携し、来年の見直しの中でどのように盛り込んでいけるか、検討してまいります。

菅原委員 : 見直しに関して、具体的な問題点・課題が明らかになるのは来年度のことだと思いますが、どのような問題点・課題が想定されるのか等、早い段階で案は示して頂けるのでしょうか。

事務局 : 見直しの候補に関しては、今年度内に作業を進め、来年度当初の協議会でお示ししたいと考えております。

菅原委員 : 見直しにおける問題点・課題抽出の際は、今年度に予定している事業者部会及び区民部会にて、これまでの取り組みの中から気づかれた点・問題として認識されている点等を挙げていただき、見直しに反映していただきますようお願いいたします。

委員長 : 有効な見直しとするため、来年度に実施する3回の協議会では課題や案等をしっかりと示していただくよう、今年度からの準備をお願いいたします。

小林委員 : 聴覚障がい者にとって、避難経路を案内する表示が無い施設を利用する際は心配です。避難経路を案内するサインの設置をお願いします。

事務局 : 避難経路及びサインに関して、多言語表記も含め、H23年度の方針策定の際から課題として認識しております。また、サインについては、まちあるき点検でも多くのご意見を頂きます。大田区ではデジタルサイネージを用いた取り組みを進めており、特定事業計画にも記載しております。

佐々木委員 : この場をお借りして、交通事業者の皆様にお伝えしたいことがあります。大田区の知的障がい児のうち、来年度から特別支援学校高等部の学区の変更により、港区内まで通学する生徒がおります。事故等で電車が止まってしまった際など、日常と異なる事態が発生した場合、生徒が不安になり対応できないことが想定されます。ご配慮いただくよう、お願い申し上げます。

委員長 : 蒲田及び大森駅周辺地区のエリアから外れてしまう話ではありますが、このような話こそがバリアフリー法の趣旨に沿うものであるため、関係する事業者の皆様にはご協力をお願いしたいと思います。

高山委員 : 視覚障がい者にとって、道路と歩道の段差が無くなってしまうことは問題です。何か取り組みを進めている事業はあるのでしょうか。また、エスコートゾーンを敷設する予定はあるのでしょうか。

事務局 : 段差の解消に関しては、特定事業計画に記載しております。また、段差を無くすのではなく、視覚障がい者の方や車いす利用者の方にとって移動しやすい段差とするよう定めております。なお、エスコートゾーンに関しては、交通安全特定事業に記載されております。

委員長 : 来年度の協議会開催予定はいつ頃でしょうか。できるだけ早い段階で、見直しの骨格を示すとともに、年度内に方向性を示していただきますよう、お願いいたします。

黒澤委員 : 5月末を目途に、出来るだけ早い時期での開催に向けて、準備を進めてまいります。

閉 会

第11回 大田区移動等円滑化推進協議会 出欠状況

氏名	所属・現職	出欠（出席：○）
高橋 儀平	東洋大学 ライフデザイン学部 教授	○
菅原 麻衣子	東洋大学 ライフデザイン学部 准教授	○
江守 央	日本大学 理工学部 助教	○
宮澤 勇	NPO 法人 大身連 理事	○
岩本 安起	大田区肢体障害者福祉協会 理事	○
高山 千鶴子	大田区視力障害者福祉協会 会長	○
小林 克己	大田区聴覚障害者協会 前会長	○
佐々木 桃子	大田区知的障害者育成会 会長	○
森重 三良	大田区精神障害者家族連絡会 副代表	○
嶋田 実	大田区老人クラブ連合会 会長	○
千葉 謙吾	大田区自治会連合会 会長	○
平澤 久男	大田区商店街連合会 会長	×
竹内 千代江	共に生きるまち大田	○
町野 東彦	東日本旅客鉄道株式会社 東京支社 総務部企画室副課長	○
織茂 宏彰	東京急行電鉄株式会社 鉄道事業本部 事業統括部事業推進課長	代：阿部氏
島村 昭一	京浜急行電鉄株式会社 鉄道本部 計画営業部計画課長	代：栗山氏
堀切 弘行	東京モノレール株式会社 総務部 課長	○
白石 隆一郎	東京都 交通局 総務部 技術調整担当課長	代：藤塚氏
高野 剛	東急バス株式会社 営業部 運輸課長	代：式守氏
清野 尚	京浜急行バス株式会社 総務部 部長	○
齋島 洋伸	国土交通省 東京国道事務所 交通対策課長	○
村上 修史	東京都 第二建設事務所 管理課長	×
明立 周二	大田区 都市基盤整備部 都市基盤管理課長	○
永井 義英	警視庁 蒲田警察署 交通課長	×
村山 均	警視庁 田園調布警察署 交通課長	×
田中 良治	警視庁 池上警察署 交通課長	○
成井 正司	警視庁 大森警察署 交通課長	○
池 一彦	大田区 経営管理部 施設管理課長	代：伊東
松本 敦	国土交通省 関東運輸局 交通環境部 消費者行政・情報課長	代：小松氏
池内 光介	東京都 都市整備局 都市基盤部 交通企画課長	代：安田氏
杉山 良樹	大田区 計画財政部 計画調整担当課長	○
今岡 正道	大田区 福祉部 福祉管理課長	代：立花
川野 正博	大田区 まちづくり推進部 まちづくり推進部長	○
黒澤 明	大田区 まちづくり推進部 まちづくり管理課長	○
山田 誉	大田区 まちづくり推進部 交通企画担当課長	○

事務局：まちづくり推進部 まちづくり管理課

福祉部 福祉管理課

傍聴者：2名